

NPO法人アビリティクラブたすけあい ACT通信

175号

2019年9月1日

<https://npoact.org/>

発行・責任者 豊泉惣子

7月末会員数 5,862人 共済契約数 1,714件 6月末ACTつながるケア時間数・金額 3,344時間 8,339,976円

お互いに支えあえる仲間がいる地域をめざします!

地域^{アクト}ACT 第1号

文京^{アクト}ACTがスタート!



文京ACTの皆さん

-目次-

- *文京^{アクト}ACTがスタート!...P2-3 / *どう変わる公的制度...P3 /
- *いきいきサークル活動交流集会報告 楽しみながら地域のつながりを...P4 /
- *連載コラム 一男女共同参画社会促進に向けて一角 能...P4
- *東村山まちの縁がわ恩多 地道にコツコツと、でも楽しんでまちのそこそこに縁がわを!...P5
- *理事会だより...P5 / *あくといんフォメーション...P6
- *研修・講座案内...P6 / *4コマまんが「3人でGo!」...P6 / *編集後記...P6



お互いに支えあえる仲間がいる地域をめざします!

地域^{アクト}ACT 第1号

文京^{アクト}ACTがスタート!

ACTは地域で生活する人たちが、自分たちに必要なたすけあいのしくみを作ろうと手をつないで、たすけあいワーカーズやまちの縁がわ、ACT人とまちづくりなどを作ってきました。

今、地域で新しいつながり(しくみ)を作るための活動が始まりました。文京区での地域ACTの活動を紹介します。

文京区にたすけあいの拠点

昨年からの地域の新たなACT会員どうしのたすけあいのしくみづくりとして、たすけあいワーカーズが中心となるモデル地区として府中市、そして、ワーカーズまちの縁がわのある東村山市では地域協議会が中心になって、地域ACTの活動をはじめました。

さらにもうひとつ、まだ「たすけあいワーカーズ」も「ワーカーズまちの縁がわ」も、「人とまちづくり」もない地域のモデル地区として、文京区で発達障がいのある学習会などをきっかけに知り合った人たちが準備会を立ち上げ、今年3月に文京ACTがスタートしました。

まさに、多世代交流!

もう一つの実家のような居場所

今日は文京区千石の大原地域活動センターでの、文京ACTの“ゆったりのんびりcafé”の初日にお邪魔しました。

子どもたちが食べやすい4種類の小さなおにぎりと、ご自宅の庭でとれたふきの煮物、やさしい味の和風デザートなど、メンバー手作りの昼食をごちそうになりながら、文京ACTの活動をはじめたきっかけのお話をきかせていただきました。

子育て中のママたち、生活クラブ生協のまちづくり委員の男性、谷中で月に1回ペースで環境をテーマにした映画上映会を企画している女性、ACTの傾聴講座に参加してくださった方、中間試験のために早めに帰ってきた高校生など、いろいろな世代の人が集まって、まさに、多世代交流!!



▲文京ACTのゆったりのんびりcafé。明るいキッチン付のお部屋です。都合のよい時間に来てお茶やランチ、おしゃべりを楽しみます

皆さんのお話の中で、「もう一つの実家のような居場所」ということばが印象的でした。

いつか地域の人のために役に立ちたい

…その想いがつながって

代表の中山美和子さんは、双子が生まれてからしばらく文京区のサービスを利用し、地域の方に家事支援を頼みました。いまだにその人とはつながりがあり、まちで会うと子どもたちの成長を喜んでくれて、自分も子どもたちもその人が大好き!そういう人とのつながりの経験から、いつか子育てがひと段落したら、今度は自分が地域の人のために役に立ちたいなあ、と漠然と思っていたそうです。その矢先にACTのことを聞き、想いと重なる部分があると思って会員になりました、とご自分の気持ちを伝えてくれました。



▲代表の中山美和子さんは
パワフルな3児のママ

地域ACTとは..

アビリティ共済の配当寄付による「地域ACTまちづくり基金」から活動費を助成しています



1. 地域ACTは自治体ごとのACT会員の組織体です。
2. 会員のゆるやかなつながりをつくり、たすけあいのしくみづくりをはかります。
3. ACT地域コーディネーターをおき、人、モノ、おカネ、情報のマッチングとコーディネートを行ない、地域の公的・私的資源の活用をはかります。
4. 地域協議会に参加し、SS(市民の、市民による)ネットワーク構想の実現化に向け、地域協議会ごとに策定した市民版福祉計画に沿って暮らしやすい安心のまちづくりを進めます。
5. ACT運動グループに留まらず、必要に応じ生活クラブ運動グループ、生活クラブコミュニティ、自治体内の公的・地域資源ともコンタクトを取り、コーディネートします。



「こんにちはー」みんな、楽しみにやってきました

▼一食 300 円のワンプレートランチ。デザート付！



支度や片付けもみんなで行い



▲ママたちもランチをしながら情報交換



▲多世代の方が参加。話題が豊富で盛り上がります！



文京ACTのお問合せは、ACT事務局(P6)まで

それぞれいろいろな人の地域での活動のつながりが、ACTの活動につながっていることが、まさに地域ACTのめざしていることだと感じました。この文京ACTの若いママたちの想いやエネルギーを感じて、とてもうれしくホットな時間でした。これからの文京ACTの活動に期待します。

ひろげよう、たすけあいの輪

今年度、あなたの地区でも、地域ACT準備会を立ち上げてみませんか？

もしかしたら、ご近所にACT会員の方がいるのにお互いが知らないでいるかもしれませんよ。これからの生活の不安や悩みを、会員のつながりで解決できることがあるかもしれません。

ACT会員が3人集まれば、まずは「いきいきサークル」をつくり、自分のできることから始めてみませんか。毎日の生活に楽しみを作ってみることが第一歩！そこからたすけあいの輪をひろげましょう。

ACT理事 織田由美子

第8回 どう変わる？公的制度

—住まいの確保と居住支援は一体的に—

低額所得者や高齢者、障がい者、ひとり親世帯など、住まい探しに困っている方々の問題を解決するしくみに居住支援協議会(以下、協議会)があります。2017年10月に住宅セーフティネット法の一部が改正され、住宅確保要配慮者への居住支援の取組みが強化されましたが、都内で協議会が設立されているのは10区4市(2019年5月6日時点)にとどまっています。

不動産関係団体や居住支援団体、市区町村の住宅部門や福祉部門などで構成され、家賃債務保証や安否確認サービスなどの提供により、賃貸住宅の円滑な入居促進を官民連携で行なう取組みには、今後ひとり暮らし高齢者が増える中、ますます期待が高まります。特に住まいの確保とともにその人の困りごとを包括的に支援する居住支援のあり方に注目し、そこに地域の出番があると思います。

杉並・生活者ネットワーク 奥田雅子

楽しみながら地域のつながりを

いきいきサークルの目的は、サークル活動を通じて、ACT会員同士が地域の中で顔の見える関係をつくり、たすけあいのまちづくりにつなげていくことを目指しています。会員だけでなくご近所の方々やお友達にも声掛けし、思い思いの楽しい活動を地域に拡げていきましょう。というものです。

2年前から始まった交流集会は、今年で3回目の開催です。昨年度に比べて参加団体数が少なかったものの、その分サークルの活動の様子を詳しくお聞きすることが出来ました。

今年度は、ACTの新理事長のあいさつから始まり、参加者に自己紹介をして頂きました。ACTの活動に関わったきっかけは、たすけあいワーカーズのケア者として関わった後の地域貢献、同世代の子育てママたちがともに楽しむリラクスの場、地域で趣味を通してくつろぎたい、等さまざまです。



▲かわいい折り紙の作品を紹介

そしてパソコン教室の指導者が集まりにくくなって困っている、歌ごえ喫茶が大好評で参加者が増えて70~80人になってうれしい悲鳴、等々、活動報告も様々でした。活動には対価は払っているのかの質問に対して、支払っているところとボランティアのところと両方があるようです。

今回はサークル活動の主体者の抱えている課題や疑問などを率直に意見交換できたことは有意義でしたし、活動費の原資はアビリティ共済の配当寄付金からという説明もできました。

また一年間のご活躍を期待します。

ACT理事 土田さち子

連載コラム 第2回

男女共同参画社会促進に向けて

男性保育士の登用と男女共同参画社会



かど よく
角 能

ACT理事
内閣府男女共同参画局

令和はじめての男女共同参画白書が刊行されました。人生の多様な選択の手段となりうる学習(教育)における男女共同参画の実態が、数字、コラムによって提示されています。今回はその中で私が注目した事例を取り上げます。それは男性保育士の積極的採用を行っている「どろんこ保育園」についてです。

こちらの保育園では男性保育士の割合が10%を超えています。その理由について「保育園でも父親と母親がいるような環境にしたい」という大きな示唆があるように思いました。これまで子育ては母親の役割だが、母親の就労支援のためには同じ女性が代替りの役割を果たすことが好ましいという理由から、女性が保育士に多く採用されてきました。賃金の男女平等が進み、保育士の労働条件が相対的によいスウェーデンで

さえも保育士に占める女性の割合が高いことはこのことを示しています。しかし固定的な性別役割分担を乗り越えるためには、幼いうちから、家庭の外でも双方の性別の大人から学ぶことが必要です。また、ひとり親世帯の増加、父親の長時間労働による子どもとの接点の不足の現状からも、子どもの人生の選択の機会の平等、男性による育児やそこでの課題を学ぶためには、いろいろな保育士と接することは不可欠です。したがって、「どろんこ保育園」の男性保育士の登用は、子育て=女性の役割という考えを相対化するためには何が必要かについて、新たな価値観を提起してくれています。

白書の詳細は内閣府男女共同参画局のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

まちの縁がわ
本町のサテラ
イトです！

東村山まちの縁がわ恩多

地道にコツコツと、でも楽しんで、 …まちのそこそこに縁がわを！

「東村山まちの縁がわ恩多」は今年6月2日にオープンしました。場所は野火止用水沿いに新築された「愛の泉レジデンス」の中です。1階入り口前の6坪ほどのスペースがまちの縁がわ恩多になります。このスペースに加えて、用水側に8坪ほどのウッドテラスがあり、用水の緑の借景が気持ちを和ませてくれます。

恩多では第1日曜日に地域の人たちと一緒にカレー作りをしたり、盆踊り等で体を動かす活動を考えています。2回目の7月7日はあいにくの風雨で参加者は

少なめでしたが、愛の泉レジデンスにお住まいの方の嬉しい参加がありました。

5人のスタッフの方が賑やかに、かつテキパキと動いてカレーを作っ



東村山まちの縁がわ恩多
東村山市恩多町 3-24-4

お問合せは、東村山・ワーク
ーズまちの縁がわ本町まで
TEL 042-306-3177

▲1階は通所リハビリテーション、
2階はサービス付高齢者住宅

てくれました。自家菜園の野菜で作った惣菜と一緒にいただくカレーはとても美味しく、皆さん残さずいただきました。参加された方からメニューのリクエストが出たりして、このサテライトが地域に根付いていきそうな感じがしました。

食事の後は映画鑑賞です。まちの縁がわ本町でお馴染みの秩父さんがスクリーン持参で映写してくれます。当初はオードリー・ヘップバーンの「噂の二人」の予定でしたが、アラン・ドロンを見たいとのことで「太陽がいっぱい」になりました。

当日は、施設の理事長さんがお子さん連れで参加されたり、複数の職員の方の来場もあり、サテライトを力強く応援してくれていることが伺えました。これから着実に活動が広がっていくことでしょう。

理事会だより

今年度理事会は、9人の新理事を迎え理事長、副理事長、専務の三役も交代し総勢20名の新しい理事会体制で活動をスタートしました。

今年度、もっとも力を入れることは、ACT会員とアビリティ共済加入を増やすことです。ACTは会員の会費収入と共済の配当寄付金によって運営されています。拡大はACTの経営基盤に直結する活動として年間を通して行ないます。

ACTの創立は1992年、7年後の1999年には会員6,689人になりましたが、その後は徐々に減少しています。2019年度は会員加入640人、年度末6,007人、アビリティ共済は加入110人、年度末1,745人を目指します。

60歳以上の方々が過半数を占める中で、住み慣れた地域でお互いさまの助け合いを通じた暮らしを続けられるよう、様々な切り口で子育て世代をはじめ多世代を対象とした仲間を増やす活動に取り組んで

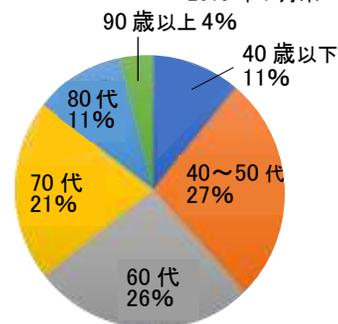
いきます。

会員も共済も「入って良かった」、「入り続けて良かった」と思える、必要とされるACT、愛されるACTを！

自治体ごとの会員の組織化「地域ACT」、電話による「見守り事業・安心コール事業」の試験的取り組みなど前年度からの引き継ぎも含め、新たに会員の皆さんの協力を得ながら進めていきます。次号からご紹介します。 ACT理事 相原光子

ACT会員の年代構成

2019年7月末



お話しませんか？
3人以上の会員が集まる
ところに出前しまーす。
「なんでも話し隊」

あくといんフォメーション

お知らせ

お問い合わせは下記ACT事務局まで

◆まちの縁がわフォーラム 東京に「まちの縁がわ」をひろげよう！ **チラシ**

9月7日(土)13:30~16:00 生活クラブ館(世田谷区宮坂) 参加費無料
東京都職員による地域包括ケアシステムに関するお話、都内11ヶ所のワーカーズ・まちの縁がわの活動紹介、パネルディスカッションなど

◆介護職員初任者研修 **チラシ**

介護を学びたい方、介護職の資格を取りたい方、11月開講(土日)です。

◆第4回介護の日フォーラム **チラシ**

11月11日(月)18:30~ 北沢タウンホール(世田谷区北沢)
服部万里子さんの講演、パネルディスカッション

◆ACTコミュニティ活動応援基金 **チラシ**

地域の居場所づくりに助成します。2020年4月~2021年3月分の助成を募集します。応募締切りは12月10日(火)。

ご寄付 (2019年7月まで)

皆様のあたたかいご協力とご寄付に御礼申し上げます。

- ・ACTコミュニティ活動応援基金 13件 34,000円
- ・こども福祉研究所山田町支部の活動「山田町ゾンタハウス」へ 1件 10,000円

研修・講座案内

◆傾聴3連続講座「日々の暮らしに傾聴をいかす」 **チラシ**

ロールプレイやグループワークを多く取り入れた本講座は3回目の開催です。

“こころによりそう聴き方” “思いを受け止める力”を学びましょう。

11/21(木) 12/4(水) 12/9(月) 13:00~16:00 全9時間 ACT会議室

講師：NPO法人パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション

理事長 後庵正治さん

受講料：全9時間一括 ACT会員4,000円、ACT非会員7,000円

定員40名(要申込) 締切：11/14(木) 但し、定員になり次第締め切り

◆まちの相談パートナー養成講座 専門講座 **チラシ**

「まちの縁がわ」をこれから作りたい方、広げていきたい方、コミュニケーション力をUPさせたい方も是非ご受講ください。まちの縁がわの担い手として、知っておきたい現状や知識を学びます。ACT会員は無料で受講頂けます。

◆コーディネーター養成講座 専門講座 **チラシ**

ACTの地域福祉の担い手を育てる人材育成講座。ACTコーディネーターに不可欠な基礎をしっかりと学びます。ワーカーズメンバーではないACT会員の方も有料で受講頂けます。

※いずれも定員になり次第締め切り。申込み期日を過ぎていても空席があればお申込み可能です。ご関心のある講座があれば、まずはお問合せを。



編集後記

ACTって何? ケアだけでなく、いきいきと暮らすために自分たちで〇〇をつくる、人とのつながりが安心づくり、まちづくりにひろがった、そんなホットな地域情報をお知らせしたい! 投稿をお待ちしています。
(ひろ)

次号のACT通信発行は1月号(12月未郵送)になります。



特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

〒164-0012 東京都中野区本町1-13-18 大新NSビル2F

TEL 03-5302-0393 FAX 03-5302-0394

E-mail: tokyoact@maple.ocn.ne.jp https://npoact.org/

Facebookもチェック



いいね!

